記者発表資料

水資源機構

令和８年６月８日
独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

川上ダムは洪水期に備えて洪水を貯めるための容量を確保します

～洪水期に向けた貯水位の低下について～

川上（かわかみ）ダムでは令和３年１２月から試験湛水※1を行っていますが、洪水期（６月１６日～１０月１５日）には、治水機能を発揮するため、大雨に備えて洪水を貯める容量を確保する必要があります。

このため、６月９日からダムの貯水位を徐々に低下させ、６月１６日までに洪水貯留準備水位（標高２６０．７ｍ）まで水位を下げていきます。

なお、水位低下中にまとまった降雨が予測されない場合は、運用高度化水位（標高２６２．０ｍ）※2までとする予定です。

※1 試験湛水は、ダムの本格運用開始に向け、洪水時最高水位（標高276.9m）まで貯水位を上昇及び降下させ、ダム堤体や貯水池周辺地山等の安全性を確認するものです。
※2洪水調節を行った後や洪水に至らない出水時に、最新の気象予測技術を活用し、洪水対応及び利水に支障のない範囲で一時的に流水を貯留して、管理用水力発電設備で有効に発電しながら放流する取り組みです。

発表記者クラブ：　伊賀記者会、名張市政記者クラブ
お問合わせ先 ： 木津川ダム総合管理所 **川上ダム管理所 所長 一戸（いちのへ）** **電 話：０５９５（５２）３６９０**

川上ダムの概要

■ダムの諸元

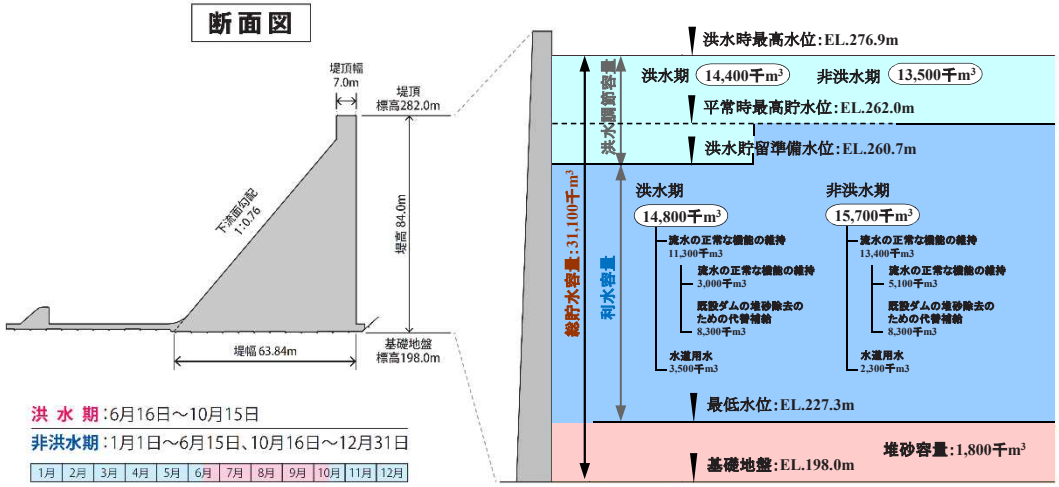
ダム型式　：　重力式コンクリートダム
堤 体 積　：　約455千m^3
堤　　高　：　84.0m
堤 頂 長　：　334m
湛水面積　：　1.04km^2
流域面積　：　54.7km^2
管理開始　：　令和5年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節
　前深瀬川、木津川沿川および淀川本川の洪水被害を軽減することを目的にダム地点における計画最大流量850m3/sのうち780m3/sをダムに貯留し、70m3/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持
　前深瀬川や木津川の河川環境の維持・保全等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 既設ダムの堆砂除去のための代替補給
　木津川上流にある既設ダムの堆砂除去のための代替補給の容量を川上ダムに確保し、既設ダムが堆砂除去する際、既設ダムの代わりに下流に必要な水を放流する。

4. 水道用水
　伊賀市の水道用水として、最大0.358m3/sの取水を可能とする。

■貯水池容量配分図